

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援夢未来		
○保護者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○従業者評価実施期間	令和7年11月12日		～ 令和7年12月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・専門性に秀でているスタッフが在職しているの で、児童・生徒へのアプローチの仕方が多様であ る。	・児童の特性、家庭環境についてはスタッフ間で綿 密な情報交換を行ない、特性に応じた支援内容や方 法を検討している。 ・児童の可能性を伸ばすことができる手作り教材を 製作している。	・支援内容、方法について、保護者の意見を求 め、日々の支援にフィードバックしていきたい。 ・外部で開催される研修に積極的に参加し、日々 の支援にフィードバックしていきたい。
2	・広い多目的室や農園を備えているので身体活動が でき、本物の自然にいつでも触れることができる。	・療育活動の一環として、農業体験を組み込み、野 菜苗の植生、育成、収穫等の作業に取り組んでい る。	・年間スケジュールの中に収穫した野菜を使って 料理する食育活動を組み込み、多くの利用者が参 加できる態勢を作っていきたい。

3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日の活動内容を文章と写真を使って配信することによって、保護者にとって我が子の普段見られない一面に気づく一助となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の特性に合わせた支援内容・方法の記述は具体的でわかりやすい文章表現になるようスタッフ間で見直しを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の活動についても自由に見学していただき、ご意見を聴き本人支援に活かしていきたい。</li> </ul>
---	--	---	---

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童発達支援事業の児童を受け入れる時間帯が午前なので、保育所等の利用と重なり、利用児童の数が限られてしまう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後の時間帯は放課後等デイサービス事業を受けているので、午前の利用に集約せざる負えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日最大2名まで児童を受け入れ可能なので、地道に本事業所の療育活動の取り組みを発信していきたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフが力量を伸ばしていくために技能研修会に参加したいが、時間の確保が難しい現状がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、利用者である個々の児童・生徒に関わることで精一杯であり、体系的な支援内容を学ぶ研修会に参加できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・力量のあるスタッフの指導方法を学ぶことができるように職場内研修を充実させていきたい。また、疑問点を質問できる職場内の人間関係を築いていきたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士、言語聴覚士、作業療法士等の資格を有する人材がいないので、療育活動全般にわたって対応することができない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業所は創業1年目なので、まだ、多様な事象に対応できる福祉分野に堪能な人材を確保・育成できていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言語や作業に関する外部研修に積極的に参加し、学んだことを他のスタッフに伝達する。</li> <li>・将来的には、有資格者を採用し療育活動に従事できるようにしていきたい。</li> </ul>